

樞密顧問官 窪田静太郎
 樞密顧問官 元田 肇
 樞密顧問官 鈴木 莊六
 樞密顧問官 石塚 英藏
 樞密顧問官 清水 澄
 樞密顧問官 上山満之進

樞密院議長男爵平沼騏一郎殿

昭和十一年七月十八日立案

主筆 書記官

書記官長 

書記官



陸軍省官制中改正ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ陸軍省官制中改正ノ件ヲ審

査スルニ本件ヲ以テ陸軍省官制ノ現行規定ニ

05
改正ヲ加ヘントスル條項ハ多數ニ上レルモ其
ノ中ニハ名稱ノ變更、字句ノ整理ニ過ギガナルモ
ノアリ今主トシテ實質上ノ改正ニ就キ其ノ要
旨ヲ摘示スレバ大凡左ノ如シ

(一) 軍務局ノ分課ノ變更

滿洲事變發生以來陸軍省所管ノ各般ノ事務
ハ著レリ繁多ク加ヘ殊々軍務局軍事課ノ所
掌事務ニ於テ甚レキモノアリ處理上ノ支障
少カラザルニ由リ軍務局ノ各課中徵募課ヲ
人事局ニ移シ(第七條及
新第九條)兵務課、防備課及馬政

課ヲ新設ノ兵務局ニ移シ殘ル所ノ軍事課ヲ

別々テ軍事課及軍務課ト為シ(新第十條)軍事課

ノ所掌事務ニハ從前ノ掌理事項ノ一半ノ外

ニ陸軍軍備其ノ他一般陸軍軍政ニ關スル事

項及陸軍豫算ノ一般統制ニ關スル事項ヲ加

ハ(新第十條)軍務局課ノ所掌事務ニハ從前ノ軍事

課ノ掌理事項ノ一半ノ外ニ國防政策ニ關ス

ル事項、滿洲國ノ軍事其ノ他之ニ關聯アル事

滿洲國以外ノ外國ノ軍事ニ關スル事項

項、帝國議會トノ交渉ニ關スル事項、國防

思想ノ普及及思想對策ニ關スル事項ヲ加フ

（新第十條）茲ニ軍事課及軍務課ノ所掌事務トシ

テ掲グルモノノ中ニハ現行規定ニ存セザル

モノアルモ其ハ現行規定ノ解釋ニ依リ従前

事實上關係局課ニ於テ處理シタル事項ヲ官

制上ニ明記シタルニ止マリ此ノ改正ニ因リ

新ナル事項ヲ追加スルニ非ズ従テ茲ニ新ニ

掲ゲタルモノアルニ東ジテ今後事務ノ範圍

ヲ擴張スルコトアルベキ旨意ニ非ザル旨當

局ハ言明シタリ

（二）兵務局ノ新設

軍務局ノ所掌事務ノ一半ヲ割キテ兵務局ヲ

新設シ(第六條)従前ノ兵務防備及馬政ノ三課ヲ

以テ兵務局ノ分課トシ(新第十條)兵務課ニ於テ

ハ従来ノ所掌事項ノ外ニ典令範ニ関スル事

項軍機ノ保護及防諜ニ関スル事項並ニ儀禮

ニ関スル事項ヲ掌リ(新第十條)防備課ニ於テハ

従来ノ所掌事項ノ外ニ衛戍勤務ニ関スル事

項戒嚴及戦時警備ニ関スル事項並ニ都市計

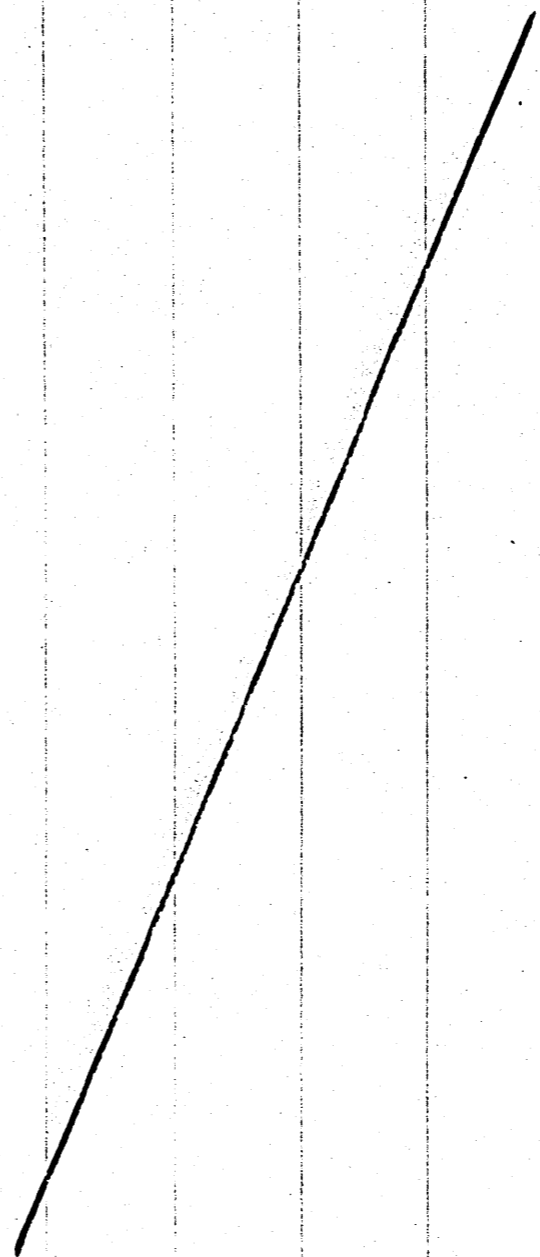
畫ニ関係アル事項ヲ掌リ(新第十條)馬政課ニ於

テハ従来ノ所掌事項ノ外ニ獸醫部ノ戦時諸

補
密
防

規則ニ関スル事項及軍犬ニ関スル事項ヲ掌

ルモノトス (新第十
七條)



(三) 人事ニ關スル事務ノ統一

今次事件ニ鑑ミ軍紀振肅ノ徹底ヲ期スル爲

メ陸軍人事ノ取扱ヲ統率ノ系統ニ歸一スル

ノ要アルヲ認メ此ノ主旨ニ由リ従前ノ醫務

局衛生課、軍務局馬政課、經理局主計課及法務

醫
務
院

機密防

(陸軍司法)

局ノ所掌事務中衛生部、獸醫部、經理部及法律

事務官、陸軍注務官以下

部ノ人事及人員補充ニ關スル事項ヲ削リ(舊第

十五條等)人事ニ關スル事項ハ總テ人事局補任課

ニ於テ人員補充ニ關スル事項ハ總テ同局徴

募課ニ於テ之ヲ掌ルコトトス

(三)關スル

(四)航空事務ノ統一

最近ニ於ケル陸軍航空ノ飛躍的進歩ニ順應

スル爲メニハ特ニ之ニ關スル事務ニ於テ行

政、教育及技術ノ連絡綜合ヲ全ウスルノ要ア

ルニ從前此等ノ事務ハ軍務局ノ軍事課、兵務

機密防

機密院

課防備課^並兵器局、銃砲課及器材課ニ於テ

之ヲ分擔シ處務上支障少カラザリシニ由リ

右等ノ事務ヲ舉ゲテ陸軍航空本部ニ移ス爲

メ右諸局課ノ所掌事務中航空ニ關スルモノ

ヲ削リ^(舊第十條等)唯航空ニ關係アル事項ノ統轄

ニ關スル事項ヲ軍務局軍事課ノ所掌事務ニ

存スルニ止ム^(新第十條)

(五)其ノ他局課ノ事務ノ整理

(1)整備局ニ於テ戰時軍需ノ補給ニ遺憾ナカ

ラシムル為メ其ノ他處務上ノ便宜ノ為メ同

編纂院

機密院

局ノ動員課及統制課ヲ戰備課及整備課ト改

稱シ(新第十
八條)戰備課ニ於テハ軍需動員、總動員、

戰時軍事交通ノ統制、軍需工業ノ指導及補助

並ニ勞務及陸軍共濟組合ニ關スル事項ヲ掌

リ(新第十
九條)整備課ニ於テハ軍動員、召集及人員

ノ徵用、軍需品ノ整備調達及調査研究ノ統制、

其ノ製造、補給及貯藏ノ設備ノ基本、徵發並ニ

陸軍軍需審議會ニ關スル事項ヲ掌ルモノト

シ(新第二
十條)(口)兵器局ニ於テハ新兵器ノ出現ニ

對應シ一課ヲシテ一般兵器他ノ一課ヲシテ

機密院

新兵器ニ関スル事項ヲ擔當セシムル為メ銃
砲課ノ所掌事務中ニ一般兵器ノ調査、研究及
審査、一般兵器ノ貯藏設備、陸軍造兵廠ノ作業
指揮及設備、一般兵器製造ノ指導監督、技術ニ
従事スル將校以下ノ技術教育、兵器ニ関スル

戰時諸規則並ニ軍事ニ關係アル特許及實用
新案ニ関スル事項ヲ加ヘ(新第二條十二條)同局ノ器材
課ヲ機械課ト改稱シ(新第二條十一條)同課ニ於テハ機
械化兵器、化學兵器及自動車燃料ノ制式、交換、
交換、調達、整備、検査、拵下及之ニ關スル一切ノ

補
密
防

經理事項、海運器材、關スル事項、右兵器ノ調
査、研究及審査、自動車燃料ノ貯藏設備並ニ右
兵器製造ノ指導監督ニ關スル事項ヲ掌ルモ
ノトシ(新第ニ
十三條)(ハ) 經理局監査課ニ於テハ軍需
品價格ノ適正ヲ期スル為メ民間工場ニ對ス

ル契約ニ基リ經理及原價調査ノ監督ニ關ス
ル事項ヲ掌ルコトヲ明ニシ其ノ他同課ノ所
掌事務中ニ陸軍大臣ノ監督ニ屬スル法人其
ノ他ノ團體ノ會計ノ監査、陸軍作業會計經營
ニ關スル會計上ノ監督及陸軍省所掌ノ民事

區
密
統

訴訟ニ關スル事項ヲ追加シ(新第ニ
十七條)同局衣糧

課ノ所掌事務中ニ被服、糧秣及衣糧器具ノ製

造ノ指導監督並ニ委任經理及酒保ニ關スル

事項ヲ加シ(新第ニ
十七條)同局建築課ノ所掌事務中

ニ建築ニ關スル調査、研究及審査並ニ建築ニ

從事スル技師以下ノ勤務及教育ニ關スル事

項ヲ加シ(新第ニ
十八條)(二)醫務局衛生課ノ所掌事務

中ニ保健及兵業衛生ニ關スル事項ヲ加シ治

病ニ關スル事項ヲ同課ノ所掌ヨリ同局醫事

課ノ所掌ニ移シ(新第三十條及
第三十一條)(六)法務局ノ所掌

區
密
院

事務中ニ陸軍司法事務官及陸軍法務官以下

ノ勤務及教育ニ関スル事項ヲ加ヘ(新第三
十二條)

(六)軍機ノ保護ニ支障ナカラシムル為メ外國

武官ノ應接ニ関スル事項ハ大臣官房ニ於テ

統一シテ之ヲ掌ルコトトシ(第五
條)(七)現行規定

ニ於テハ陸軍直轄各官衙學校ニ関スル事項

ヲ某々局課ノ所掌事務中、明記シタルモ

其ハ其ノ局課ノ所掌タルコト當然ニシテ明

記ノ要キカ又ハ數局課ノ所掌ニ関聯シ之

ヲ一局課ノ所掌ニ限定スルヲ適當トセザレ

區
密
院

二由り本改正。依り總テ之ヲ削除ス(新等十
二條等)

(六)職員ノ配置ノ變更

前記ノ兵務局ノ新設並ニ及軍務局其ノ他ノ分課

及所掌ノ變更ノ結果兵務局ノ局長中少將一

人課長大中佐三人及課員中少佐三人二三等

獸醫正一人少佐大尉二人人事局ノ課長大中並ニ

佐一人及課員中少佐一人少佐大尉一人ヲ増

シ軍務局ノ課長大中佐三人及課員中少佐三

人二三等獸醫正一人大尉一人整備局ノ課員

中少佐一人兵器局ノ課員中少佐一人並ニ經

理^局、課員一、等主計^員一人ヲ減ジ通計本省全

職員ニ於テ二人ヲ増加ス尤モ豫算ノ都合ニ

依リ軍務局軍務課長及兵務局長ハ當分ノ内

他ニ本職ヲ有スル者ノ兼務トス又處務ノ便

宜ノ為臨時必要アルトキハ定員ノ外ニ兼勤

者ヲ置クコトヲ得ル旨ノ規定ヲ追加ス^(表附)

按ズルニ本件ノ改正ハ陸軍者ニ於テ^{現時}所^兼事

務ノ必要ニ基キ其ノ部局ノ構成及所掌ニ適當

ナル變更ヲ加フルコトヲ主眼トシ之ニ伴ヒテ

職員ノ配置ニ若干ノ改正ヲ施スノ外規程ノ條

考へ具ハ所管事務ニ付
一層統制ヲ良クシ簡便ヲ計ル為ノ

現時
兼勤ノ事態ト實際ノ経験トニ

區
密
院

相
密
障

項ヲ整ヘテ其ノ體裁ヲ良クセントスルモノニ
レテ其ノ改正ノ諸點ハ孰^孰レモ別ニ支障ノ虞ヲ
認メザルニ由リ本件ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ
然ルベシト思科ス
右譯ヲ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十一年七月十八日

書記官長

議長宛

區
密
障

昭和十一年九月四日立案

書記官長 

主筆

書記官



書記官



外務省官制中改正ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ外務省官制中改正ノ件ヲ審

査スルニ本件ハ(一)現在外務省歐亞局ニハ第一

相
密
防